

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くるみの森 西谷		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 5日		～ R8年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	R7年 12月 15日		～ R8年 1月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	平日の活動内容、長期休暇・祝日のイベント内容をスタッフ全員で何度もミーティングを行い、活動・イベント内容が固定化せず、ご利用様が楽しみながら成長できるように考えています。	平日の活動では体を動かして行う"動の活動"と座って集中力を高める"静の活動"を行い、長期休暇・祝日のイベントでは梅雨の時期や雪の時期は室内でも楽しめるお出掛け先や室内イベントを考えています。お出掛け先は1、2ヶ月前に行った場所は避け固定化しないようにしています。室内イベントとして行う調理体験やおやつクッキングでは難しくなく、しっかり行程があり皆が挑戦できるようなメニューを組んでいます。	スタッフ間で活動、イベント内容を決めるだけでなく、利用者様にも"楽しかった場所"や"行きたい場所"や"やってみたいこと"などを聞いて取り入れていきたいと思っています。
2	保護者様に寄り添う気持ちを大事にしています。面談だけでなく、電話等の連絡を頂いた際や、送迎に伺った際、お迎えに来ていただいた際にお家や学校での困りごとを相談された場合は必ずお聞きし、少しでも保護者様が"相談して良かった"と思っただけよう努め、そこから支援に繋げられるように誠心誠意向き合っております。	送迎に伺った際や、お迎えに来ていただいた際に事業所での様子を分かりやすく申し送りさせていただき、頑張っていたことを必ずお伝えするようにしています。頑張れなかったことや失敗してしまったこと等もお話させていただき、次からはどうしていくか、今後の対応なども利用者様や保護者様と考え、お話をさせて頂いております。	面談、電話等の連絡、送迎・お迎え時にお話しを聞くだけでなく、保護者様が相談・悩みが少しでもある際は事業所にて場を設けられたらと思います。
3	長期休暇でのお出掛け時以外は週3回必ずスタッフ手作りのおやつを提供しています。利用者様のお誕生日にはスタッフ手作りのお誕生日ケーキをおやつ時間に利用者皆様に提供しています。	1週間ごとにスタッフを変えて手作りおやつを提供し、1、2カ月前に作ったおやつは避け固定化しないようにしています。お誕生日ケーキは手作りし、利用者様とスタッフみなんでお祝いをしています。	スタッフでおやつを決めるだけでなく、利用者様にも"食べたおやつ"美味しかったおやつ"を聞いて取り入れていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブ、児童館、地域の方々との交流や、活動する機会がもてていない。	内向的な施設方針だったこともあり、交流する機会をもちなかった。また、事業所での交流となると狭いため場所を借りる必要があった。	まずは地域の方々との交流を考え、会った際には挨拶を行い、地域のゴミ拾い等を行えたらと思っています。また、場所を借りて交流の場が開けたらと考えています。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会、情報提供の機会が設けられていない。	ペアレント・トレーニングに関する知識がないスタッフが多いため、研修を受けて知識を得ていきたいと思っています。	ペアレント・トレーニングに関する研修を受け知識を得てから、家族支援として提供していきたいと思っています。また、保護者様も参加できる研修会や情報提供の場を設けられたらと思います。
3	外部研修への参加が少ない。	管理者が参加する機会が多かった。	今後は、保育士、児童指導員も様々な外部研修に参加できるよう検討を行いたいと思っています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		くろみの森 西谷		公表日		2026年3月23日		利用児童数		19名(17家庭)		回収数		19名(17家庭)	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応							
									環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16			1
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	2			スタッフは増えてくれると嬉しいなあと思います。	スタッフの配置や付き添いの数を見直していきます。							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	2		1	子供が自分で片付けられるということは、分かりやすくなっているからだと思う。	事業所が2階にあるので階段や段差の上り下りの際の声掛けは引き続き行っていきます。また目印をつけるなどの環境整備を工夫して行きます。							
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17												
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	2		2		引き続きお子様1人1人に誠心誠意に向き合い支援を行ってまいります。							
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1		2		保護者様にご理解いただけるよう分かりやすい説明を行ってまいります。							
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	1				困りごとがあり上手く伝えられなくても何となく分かってもらい、普段の支援の中で困りごとを上手く計画作成してもらっている。	引き続きお子様や保護者様のニーズや課題をくみとり、先を見据えた計画書を作成していきたいと思います。						
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1		2		継続していくことが必要な支援なので、それに向かって設定しており、難しかったことは次の支援に引き継がれていると思う。	引き続き保護者様の思いに寄り添いながら、具体的なかつ細かな支援内容が設定できるよう尽力を尽くします。						
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1					計画に沿った支援を行っていますが新たな課題がでた際は、スタッフと情報を共有し計画書の更新を行います。						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1		1		・色々な活動をしていると思う。 ・楽しく参加できるなりたいと思う。 ・長期休暇等、色々な場所にお出かけしてくれてすごく有難いです。	活動プログラムが固定化されないよう、毎日スタッフとミーティングを行い決めていきます。引き続き工夫を行ってまいります。						
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9		3	5			今後は交流の場を設けられるよう検討を行います。						
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					変更がある場合は説明と書面があるので分かりやすい。	お子様、保護者様が安心してこみをご利用できるよう丁寧に説明を行っております。						
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1					計画書を更新した際は、保護者様にも支援内容をご理解いただけるように説明を行っております。						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2		4			ペアレント、トレーニングに関する知識や研修の仕方を学んでから、家族支援として提供していきたいと思えます。						
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17					・連絡帳や申し送りで聞く話で状況は理解出来ている。 ・毎日、子供のその日の様子を伝えてくれます。	送迎に伺わせていただいた際や、お迎えにきていただいた際に保護者様に家や学校での様子を聞くよう努めており、くろみでの様子も細かくお伝えさせて頂いております。						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	2		1			送迎に伺わせていただいた際や、お迎えにきていただいた際に保護者様のお家でのご相談を聞くようしておりますが、面談の場が少ないので定期的に面談を行っていきたく思っております。						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1					困りごとに対応してくれ、注意も優しくしてくれて見えてもらえているなど感じます。	引き続きお子様や保護者様が安心してこみをご利用できるよう努めます。					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	3		4		兄弟がいないので分かりません。	密室や季節など感染症に考慮して、令和7年度に久しぶりに開催し、保護者様での交流の場を設けました。引き続き感染症等考慮を行いながら保護者会を開催していこうと思っています。						

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16			1	帰りの送迎は利用していませんが、手前でお迎えにいけない時だけ、送迎利用出来ないか相談したら、すぐに対応出来ると返事をもらえ助かりました。	相談やご意見等にかあった際にはすぐに対応するように努めています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17				本当に聞かないといけない大事な話の時は、先に先生だけ出て来て話があるので聞くことができます。	お子様がいけない場での相談等のご要望があった際は、電話や面談等の配慮を行っております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1				活動やイベントの様子はSNSや会報等で発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	2		1	・定期的に避難訓練をしてくれるのでありがたいです。 ・訓練は行われているが、利用日ではない時もある。	保護者様において各マニュアルの周知は完全とは言えないため工夫しています。また曜日関係なく全員が避難訓練に参加できるように工夫していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16			1		定期的に各訓練を行っていますが、保護者様への発信や伝達が不十分なため、工夫して行われている事をお伝えしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1		1		安全を確保して支援を行っていますが、ご要望があれば適宜対応していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	2			・「行きたくない」など言ったことがないので安心していると思います。 ・いつも楽しそうに行っています。	これからもお子様、保護者様に安心して頂くをご利用していただけるように誠心誠意努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	2			・いつも楽しく行っていますが、イベント等で楽しみがあると、その日をより楽しみにしています。 ・いつも楽しそうに行っています。	くるみは楽しく成長できる場だと思っていただけのように、活動プログラムも工夫し、誠心誠意努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1			・友達と遊んだり出かけたりして、今まで遊べなかった遊具も、ここで友達や先生に見てもらい遊べるようになったものもあり、皆と一緒にだから出来ることもあり良い経験をさせてもらっています。 ・その日の子供の様子を毎日詳しく教えてくれるので助かっています。	これからも1人1人と誠心誠意向き合い、より良い支援が行っているように努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	くるみの森 西谷				公表日	2026年3月23日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		不要な壁(簡易的なもの)を取り、空間が広くとれるようになり、支援の目が届きやすくなった。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	事業所が2階にあるため階段の上り下り時や、玄関の段差、事業所内出入口の段差に注意するよう声掛けを行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		業務終了毎に消毒・清掃を行っています。壁を取り除いたことにより、ホール内で色々な活動を同時に行うことができるようになりました。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	着替え、クールダウンの際に使用できる場所を確保している。	個別の部屋の空間がカーテンで仕切られているだけのため、自由に使えるようになっており、子供達で使う前に使用する旨をスタッフに伝えてから使用するが「使用中」と分かりずらいため、分かりやすいように工夫していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		評価表だけでなく、保護者様から思いや相談があった際には、対応が可能な範囲で少しずつですが改善できるよう取り組んでいます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		毎月必ず他店舗と合同で研修を行っています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページにて公表されています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		子供の声に耳を傾けることができましたが、保護者様との面談回数が少なかった。しかし、保護者様からの相談は真摯に受け、できる限り計画書に反映しました。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		新しい活動の思案や検討をスタッフミーティングで行い、固定化しないよう少しずつ実行しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援内容や役割の確認をその都度行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		毎日、職員間で振り返りを行い、情報や気付いた点をどんなに小さいものでも共有するようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		モニタリングを行い、支援の見直しや修正を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		自己選択、自己決定をする場を多く設けるようにし、利用者様の思いが通りやすいようにしました。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		担当者会議やカンファレンスなどに多く出席するよう努め、各機関と連携したり情報の共有を行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	必要に応じて関係機関との連携を行っています。	障害福祉、教育との連携は行っていますが、医療や保育などの連携は少ないです。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校や保護者様ご協力のもと、情報共有や連絡調整を都度行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	現在は就学前、児童発達支援の利用者様がおりませんが、利用者様がいた場合は情報共有を行い相互理解に努めています。	現在、就学前の利用者様や児童発達支援の利用者様がいないため、情報共有はできていません。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	連絡、移行会議がある際には参加し、情報提供を行っています。いつでも情報提供できるように資料も揃えています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	イベントを通して交流ができる機会を検討していきます。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	管理者または店長が定期的に参加しています。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		お迎え、送迎時にご家族様と様子や状況を伝え合い、対応の共有等を行っています。また、課題についても話をしています。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		ペアレント、トレーニングに関する知識や研修の仕方を学んでから、家族支援として提供していきたいと思っています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時以外でも保護者様から質問、相談等あれば都度説明を行っています。また分かりやすい説明を心がけています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		面談だけでなく、保護者様から希望があれば都度場を設けたり、電話等で対応させて頂いています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		密室や季節など感染症に考慮して、令和7年度に久しぶりに開催し、保護者様での交流の場を設けました。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		ご意見や苦情があった際はすぐに対応し、店長を筆頭に改善策の会議を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		SNSや通信を通して、活動やイベントの様子を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報が記載されている書類等は、鍵付きの書庫に入れ厳重に保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	6	地域住民との交流が少なく、難しい部分もありますが、外で会った際には挨拶を行うなど、少しでも交流をはかっています。	室内が狭く場所の確保が難しいため、地域住民を招いての行事などが難しい。他店舗一緒に合同で出来ればと思っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		職員は研修を通じて周知し訓練を行っています。	保護者様には知らせていないことが多いため、広報誌を利用するなどして知らせるようになっています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的に様々な自然災害を想定し、消防署職員の協力のもと避難訓練や非常用品の確認を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		保護者様に確認し、都度の様子観察、変更があった際にはすぐに共有できるようにしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットはすぐに共有を行い、再発防止対策を講じています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		毎月行っている合同研修にて虐待防止の研修も行っており、虐待防止の研修は年に2回行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				